

# 別中ありがとう

別所中学校学校通信  
2022年度 NO.11  
2月1日(水)発行

## 「鬼は外、福は内」豆は…？

2月3日は節分です。節分とは季節の分かれ目、特に2月3日は立春、新しい年が始まる前日と考えられてきました。季節の分かれ目は邪気が入りやすい時期であり、このときに一年の無病息災を願う行事が行われるようになったとされています。では、なぜこの時に豆をまくのでしょうか？

「豆」が「魔を滅する」につうじていて語呂がよいという説や「豆」＝魔目（鬼の目）を滅ぼすということに由来しているという説などがあります。また、正しい豆のまき方もあります。鬼は夜にやってくるため豆も夜にまく方がよいとか、外にまいた後は邪気が戻らないようすぐにドアや扉をしめなければいけないなど様々です。いずれにしても豆を使って禍（わざわい）を遠ざけ、健康と幸運を祈るものです。

人は一人ひとりのなかにも「鬼」と「福」が存在するように感じます。なまけようとする鬼と頑張ろうとする福など、そのどちらかがその時々によって顔を出します。そんな時に豆をまくのは自分自身でしかありません。自分で自分をコントロールする力、それがその人の持つ「豆」ではないでしょうか。節分は2月3日だけですが、いつでも「豆」をまき自分を律することができる、そんな自分でありたいと願いながら恵方巻を楽しみましょう。



## 自分で考え、判断する力

みんなで考えた校則の見直しを今日から学校生活に反映させます。靴や靴下に変更を加えますが、変更していない髪型なども規定をもとに、自分で学校生活に適したものを考え、判断してください。この自分で考え、判断する力が大切です。

みんながしているから、していないからが判断の基準ではありません。自分の学校生活に適したものがどうか基準です。また、自分と違った判断をする人がいるかもしれません。異なった判断を否定するのではなく、その判断に至った考え方をお互いに聞こうとすることが必要です。

これは校則だけではありません。マスクの脱着についても同じことが考えられます。必要な場面とそうでない場面、人によって判断が異なることがあるかもしれません。屋外で会話を伴わない活動ではマスクは必要ないとされています。屋内でもマスクを外す議論が進められています。それぞれの判断を尊重できるようにしていきます。

## 《保護者・地域の皆様へ》

3学期がスタートしてすぐにインフルエンザの流行によって学級閉鎖をしなくてはならない状況になりました。これまでと同様に新型コロナウイルス感染症対策を行っていましたが、感染の広がりも早かったです。1月の中旬以降、感染の拡大も収まりましたが、両感染症に対する対策は継続して行っていきます。学校生活、家庭生活ともに基本となるのは生徒たちの健康です。ご家庭とともに生徒たちの健康を支えていきたいと思っております。

学校長 坂田 直裕

